

## 1 活動のねらい

授業研究や情報交換を通して、授業力の向上を図る。

## 2 活動内容

### 第1回研修 6月29日(水)

「新しい教科書についてお話を聴く会」

講師 学校図書(株) エリアマネージャー 原 伸基 様  
学校図書(株) 執行役員(第二編修部長) 芹澤 克明 様

会場 五泉市立村松小学校

内容 新しい教科書を編集する上での4つのポイントについて詳しくお話を聞いた。

ポイントその1 系統性の重視

- ・学習の領域がわかる目次があること
- ・前学年の関連する学習内容が一目でわかるページがあること
- ・導入や吹き出しで、既習事項をふり返ることができること
- ・6学年では、小学校算数の考え方の総まとめと中学校への架け橋となる内容が用意されていること

ポイントその2 活用する力の育成

- ・「算数を算数で活用する」という内容と「算数を生活の中で活用する」という内容とがある。

ポイントその3 表現力、読解力の育成

- ・問題をイメージするサポート・ノートやレポートを書くサポート・話し合いのサポートをするためのページがある。

ポイントその4 基礎・基本の充実

### 第2回研修 9月7日(水)

授業研究

会場 五泉小学校5年2組教室

授業者 志田倫明先生

単元名 倍数と約数

整数をいくつかの集合ととらえる学習で、「奇数・偶数」「倍数・約数」という考え方の他に、「剰余類」の考え方も使って集合をとらえさせるという授業だった。カレンダーの数字をヒントに7の倍数とその剰余類を使って整数について考えさせたい、という授業者の視点がとても新鮮だった。

子どもたちは、ゲーム感覚があり、しかも「分かりそうで分からない」問題に対して、真剣に取り組んでいた。

### 第3回研修 10月6日(水)

教材・教具についての研修会

会場 村松小学校

部員が算数で取り組んだ教材・教具を持ち寄り、紹介しあった。教材の捉え方、教具の作り方、子どもの反応など、現場感覚の情報交換ができ、大変有意義な時間であった。各学校の教務室で、このような情報交換が日常化していけば、授業の質は確実に向上していくと思えた。

## 3 成果と課題

部員同士が普段の算数授業についての悩みや頑張り进行交流しあえたことが一番の成果であった。教科書が変わり、試行錯誤の毎日の中で、有意義な研修を実施できたと思う。日々の慌しさに流されることなく、この研修で得たことを一時間一時間の授業の中で生かしていくことが今後の大きな課題である。